



長脊 守

◎3月議会一般質問

①くしもと町立病院について
※小児科の診療体制と時間外・休日診療・医師増員について尋ねる。

※常勤医師1名のため、基本的に夜間・休日の救急は休診、ただ危険な状態にある場合は小児科医師に常に連絡を取れる状況で、今年度から場合によっては中学生でも内科でも診療可能な体制で臨む。小児科医師の増員については、今後検討。

※夜間の救急医療体制について尋ねる。

※夜間・休日の当直については、院長を含め8名の常勤医師が交代で対応。患者さんの症状・緊急性また、当院で対応が難しい場合、対応するの一番ふさわしい医療機関を紹介して対応。
※医師の在任期間と脳外科・心臓外科の診療科の増設について

◎防災対策について

※避難シエルトー・避難タワーについて
※備蓄計画等について
※避難困難地域・避難行動要支援者について

③学校と地域の連携について
※市町村対抗ジュニア駅伝の練習場と送迎・町民グラウンド夜間照明設置について
※夜間活動と地域クラブの連携について

※この安全と地域のボランティアについて尋ねる。

※各学校では、セーフティガードや古座地区のゆかりパトロール・潮岬地区のみさきこ安全パトロールなど各地区独自の見守り団体を促進や警察・青少年センターとの外部機関に協力し、防犯教育やきしゅう君の家の再確認整備。

◎動物愛護について

※学校教育で動物とふれあいの大切さや思いやりを育てるために飼育体験の必要性について尋ねる。
※動物アレルギーや休日の世話・衛生面等の問題があるため、植物を育て・蜜・ハッチョウトンボの観察など自然と触れ合う方向へ転換。



◎コミュニティバスについて

※停留所を旧国道などへ設置とバス購入について尋ねる
※停留場については出来るだけ要望に応えていきたい。

◎6月議会一般質問

①防災対策について

※学校と地域が連携した防災訓練について尋ねる。
※自助・共助・公助・の連携は重要である。幼稚園・小・中学校・地域との連携した合同訓練を実施中。
※防災教育について尋ねる。

※官公庁連絡協議会のメンバーによる避難訓練計画あり(十一月初旬予定)。橋杭小学校では、駆け上りサンゴ台をテーマにJ.R.警察署・海上保安署と地域の人達と合同避難訓練を実施。今後、全町に広げていきたい。

※行動する力をつけるため用具(ヘルメット)の見直しについて

◎交通安全教育について

※小・中学校でのヘルメット着用などの交通安全教育啓発について尋ねる。
※町内の小・中学校は、登下校時や部活動の生徒には、着用を義務付け、各学校で毎年県警ひまわり隊による交通

防災・危機管理

申本町の巨大地震の人的被害予測8,200人。
国の「死者数を10年間で8割減らす」を理解しているのか?
災害協定は、民間の特殊技能を持った組織との協力体制で大変重要である。

※申本町は、一番必要な技能を持った申本建設業組合との災害協定を結んでいない、危機管理が出来ていない!!

*国土交通省・和歌山県は、申本建設業組合と詳細な災害協定を結んでいます。
役場職員は町の備蓄品を当てにしないで、災害発生時には、自ら食料品を持って駆けていくべきである。



安心して徘徊出来る町に

65歳以上の四人に一人が認知症もしくは認知症予備軍。「徘徊ノゾ」ではなく、「徘徊心」で徘徊できる町に。行方不明者でできるだけ早く発見し、無事に保護できるように「申本町安心ネットワーク」を作り地域全体で徘徊の方を見守り支えていく。全国各地で、安心ネットワークに取り組んでいます。

子育て現場・教育現場

親達の間では、申本町の子育て・教育の不安から次世代からの脱出を考えている。
「福井モデル」待機児童無し・延長保育・一時保育・休日保育・病気、病後保育他驚くのは祖父母の育児休暇。従って全国一の共働き率、所得も上がり、教育もお金を掛けられ、学力も全国2位、余裕があるから子供をも一人、出生率も高い。子育てがしやすいから、子供達は安心して福井に帰って子育て教育が出来る。

申本町は、真逆で子育て環境も整っていない。所得も低く子供の教育にお金を掛けられず、学力も大変低い。安心して子供を産めない教育出来ない。子供を申本からの脱出。過疎化に拍車。
子育ては行政の最重要課題であるが、申本町は大きく遅れてしまった。

申本町は今、建物ばかりに取組んでいるが教育・子育て環境・内容に真剣に取り組むべきである。
学力の低下・不登校・発達障害等複雑化する教育環境に对应していくために統廃合を進めて体制の整った学校にすべきである。

安全教室を開催、自転車の安全利用についてより一層指導。



◎地域の活性化について

※マラソン等イベントの計画と各施設の雇用について

◎くしもと町立病院について

※くしもと町立病院の休診の周知方法改善と案内係りの増員について
※コミュニティバスの利便性と従来のバス利用者(患者)への影響と時刻表の周知方法について
他に自主防災活動補助金の増額・子供の医療費無料化・閉校施設の活用について尋ねる。



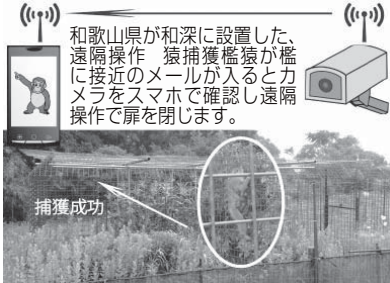
持続可能なくしもと町立病院

人口減、高速道路の南進等病院を取り巻く環境はめまぐるしく変化している。
先を見据えた経営にすべき。
手探りで地方公営企業法全適(管理者に全権委任)だが、持続可能な病院にするため、他からの助言も受けるべき。
全国病院管理者協会に参加すべきである。何度も提言したが経営診断は受けない。

有害対策

効果のある有害対策を

電車や車で跳ねられた鹿・猪・他の腐敗臭対策



和歌山県が和深に設置した、遠く離れた猿捕獲檻が檻に接するカメラが確認し遠く離れた猿を捕獲成功。

田辺市長と和歌山レスキューサポートバイクネットワーク(WRB)



東日本大震災での活動を評価され田辺市・WBS・新聞社と災害協定締結国交省からの依頼で災害協定締結中

新聞に消滅可能性都市の特微活性化の低い議会、議案の修正は全く不可決、議員による条例の制定も無し。
申本町は、2040年人口9701人・消滅可能性都市全国(896都市)97位。3位。
経済の落ち込みも県下3位。
資質無き議員とも言われ、いよいよ一般質問も議案審議も問題意識を持って取り組ま



水口 崇